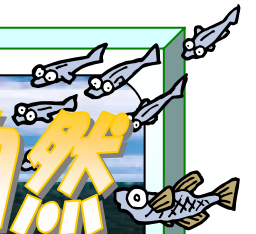




みんなで守ろう岐阜市の自然



岐阜市自然ふれあい地域ビジョン策定ワークショップ 第13号 平成18年3月発行

はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。このような状況の中、現在ある岐阜市の貴重な自然環境を、次世代に残し伝えることが、私たちの役割です。

そのための第一歩として「**岐阜市自然ふれあい地域ビジョン**」策定に取り組みます！！



金華山達目洞の保全活動（3月18日開催）

・春の訪れが感じられます。春にむけての活動

春の訪れが感じられます。春にむけての活動



ヒメコウホネの自生する水路では、ヒメコウホネの花芽が伸びているものもあちこちで見られました。また、すぐ側の水路では、ヒキガエルが毎年恒例の産卵をしています。少し奥の雑木林では、ショウジョウバカマが花を咲かせ、フキノトウが顔を覗かせていました。このように、春の訪れが色々な場所で見られる達目洞で、本格的な春を迎えるための保全活動を実施しました。

まずは、ヒメコウホネが自生する逆川源流部の雑木林の除伐作業を行いました。この作業も、夏に雑草が伸びてからでは効率よく進みません。

そこで、皆で一斉に除伐活動を行いました。除伐した樹



春先の達目洞の水路



達目洞の色々な場所で春の訪れが感じられます。



木は、枝をはらい一定の長さにそろえてまとめました。このような作業によって出来た枝は水路などの補修材料としても使うこともあります。水路も、コンクリートで整備されては、ヒメコウホネやヒルムシロといった植物が生えることも出来ませんし、色々な生き物の生息場に使いません。手間がかかるかもしれませんが、昔ながらの工夫をした補修活動の継続も、達目洞に素晴らしい自然が残されている要因の一つであると考えます。



雑木林を除伐手入れ



傷んだ水路を補修



サギソウの種を播きました。

そのような一連の除伐作業が終わった後にはサギソウの種播きを行いました。この種は、元々達目洞に自生していたサギソウを自家栽培したものから採りました。昨年はうまくいきませんでした。今年こそ育ててほしいものです。

しかし、このような保全活動の一方で、ヒメコウホネ自生地の上流部で使用済み接着剤の容器が数多く投棄されているのを見つけました。心ない人のこのような行為が地域の財産を汚してしまうのです。

何とか、このような行為がなくなる事を祈るばかりです。



こんなゴミが水路に捨てられています！！

おわりに



金華山地区をはじめ、大洞地区、山県北野地区の自然ふれあい地域について、それぞれの地区の課題を盛り込みつつビジョンの方向性が見えてきました。達目洞の保全活動も来月からは年度も変わり、また心をリフレッシュしてスタートする事でしょう。特に来年度は、課題であった稲作にどのように取り組むのかという事についても、達目洞全体を保全する観点から重要な取り組みとなります。是非、うまくいくこと願うばかりです。

自然ふれあい地域ビジョンに関する問い合わせ

岐阜市 人・自然共生部 みどり自然室 担当：吉村

TEL：058-265-4141 FAX：058-267-1374

E-mail：midori@city.gifu.gifu.jp

みどり自然室 HP アドレス：<http://www.city.gifu.gifu.jp/splash/midori/index.html>

